



## 入隊予定者の旅立ちを盛大に見送り



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は、3月30日（金）、本部庁舎前（静岡市）において、県内から各教育隊に旅立つ入隊予定者の見送りを実施した。

今春県内から一般曹候補生及び自衛官候補生は、男女合わせて約240人が入隊する。この日、着隊する入隊予定者を激励して送り出すため、家族や地本隊員100人余りが本部庁舎前に集まった。

これから始まる自衛官生活のスタートに緊張の表情が見える入隊予定者やその家族に、定免本部長は笑顔でリラックスした雰囲気を与えつつ、「自衛隊の教育訓練は厳しい面もある。しかし、仲間と協力し合って、また元氣な姿を見せてほしい」と、熱い激励の言葉を送った。

地本では、県内各地から陸・海・空自衛隊の各教育隊に入隊予定者を無事着隊させるため引率を実施しており、入隊予定者はそれぞれの教育隊に向かう車両に乗り込み、家族や本部隊員、担当広報官等が盛大な拍手を送る中笑顔で出発していった。

静岡地本は、今後も入隊者やその家族に対するサポートを継続的に実施し、自衛隊に対する理解促進と不安感の払拭に努め、故郷・家族をしっかりと守れる一人前の自衛官に成長する姿を見守っていく。

## 桜舞う中、いざ空自教育隊へ



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は、3月27日（火）と3月30日（金）、県内から入隊する一般空曹候補生入隊予定者21人と自衛官候補生入隊予定者28人を航空自衛隊熊谷基地（埼玉県熊谷市）の航空教育隊第2教育群へ引率した。

移動中、入隊予定者は終始緊張した面持ちで口数も少なかったが、熊谷基地の正門を通過した後は、いよいよ自衛官生活が始まる気負いから気を引き締めた顔つきになっていた。

桜が舞う中、慣れない動作ながら団体行動で隊員食堂に移動し、初めて自衛隊食堂で昼食を取った後、これから生活する学生隊舎へ移動し、同期とともに教育隊での生活がスタートした。

入隊予定者は、緊張した様子ながらも「まずはこの教育隊の約3ヶ月間を精一杯頑張り、一日でも早く一人前の航空自衛官になりたい」と力強く抱負を述べていた。

静岡地本は、教育隊卒業後の部隊で活躍する隊員の姿を積極的に広報して、将来の自衛隊を担う隊員の募集に全力を尽くしていく。

## 富士と桜と自衛隊の共演 富士地区駐屯地行事



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は、4月1日（日）に駒門駐屯地、8日（日）に滝ヶ原駐屯地、15日（日）に板妻駐屯地（いずれも御殿場市）で行われた、駐屯地創立記念行事に参加した。

各記念行事の式典やパレードでは、今春入隊した新隊員が新しい紫紺色の制服を着用して、先輩隊員に混じって凛々しい姿を披露した。各創立記念行事中は駐屯地が一般開放され、模擬戦闘訓練の展示、戦車・高機動車の体験搭乗などが行われ、3力所合わせて約1万4千人が来場し、日頃入ることのできない駐屯地内で自衛官や自衛隊の装備を間近で見るとして楽しんでいった。

静岡地本は各記念行事において広報ブースを開設し、自衛隊に興味のある若者等に自衛官の採用制度の説明を行った。また、子供たちを対象に、戦車などの自衛隊の装備をデザインしたフエイスシールや缶バッジを配布したほか、ぬりえコーナー、子供用迷彩服の試着体験などを行った。なかでも会場に駆け付けた静岡地本の営業部長兼応援団長であるマスコットキャラクター「しずぼん」も多くの来場者とふれあうとともに、滝ヶ原駐屯地マスコットキャラクター「たきすけ」をはじめ各駐屯地のマスコットキャラクターとコラボするなど大活躍した。

静岡地本は、今後も駐屯地等で行われる地域に密着したイベントにおいて、自衛隊の広報活動を積極的にを行い、自衛官を志す熱意ある若者や地域の皆様に自衛隊の任務や活動に対するご理解を得られるよう取り組んでいく。